

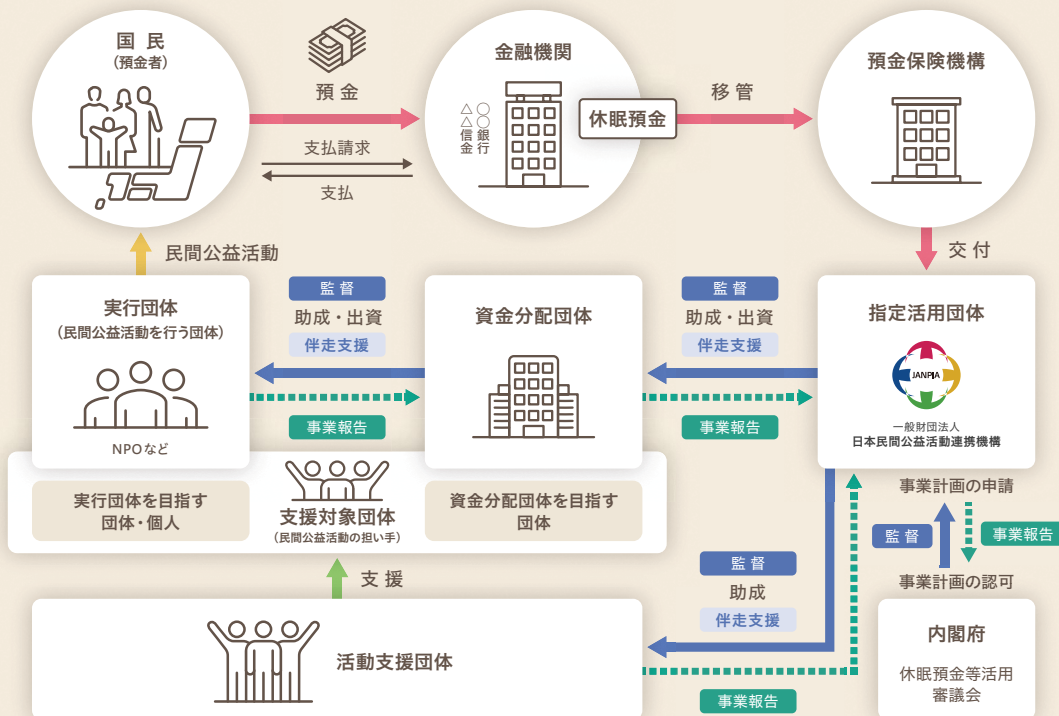
休眠預金を、社会のために。

休眠預金 活用事業

休眠預金等を活用した助成や出資を通じ、行政の対応だけでは
解決が難しい領域で社会課題解決に取り組む民間団体の活動や
その担い手の育成を支援しています。

舞い上がれ
社会を変える
みんなの力
休眠預金を活用した事業です

休眠預金活用の事業イメージ



「民間公益活動を促進するための休眠預金等に係る資金の活用に関する法律」(休眠預金等活用法)に基づき、2009年1月1日以降の取引から10年以上、その後の取引のない預金等(休眠預金等)を、預金者等に払い戻す努力を尽くした上で、その残りを社会課題の解決や民間公益活動の促進のために活用する制度が2019年度から始まりました。

支援の対象となる

3つの

優先すべき
社会課題の領域

1

子ども及び若者の
支援に係る活動

2

日常生活または
社会生活を営む上での
困難を有する者の
支援に係る活動

3

地域社会における活力の低下、
その他の社会的に困難な
状況に直面している
地域の支援に係る活動

本事業では、民間団体による活動の促進に向け、助成・出資による資金支援とともに、事業運営・組織基盤強化についての伴走支援も提供します。これにより、多様な事業モデルの創出が促進され、ひいては自律的・持続的な社会課題解決の仕組みの構築を目指します！



休眠預金活用について

もっと詳しく知りたい方は下記のサイトをご覧ください

公募について

休眠預金活用プラットフォーム

休眠預金活用事業に関する様々な情報を得ることができ、社会の諸課題の解決にチャレンジし続ける担い手の皆さまを双方向につなぐサイトです。
JANPIAが実施する公募情報も掲載されています。



助成・出資の公募一覧(実行団体・支援対象団体の公募一覧)

社会課題解決を目指す団体・組織向けの助成金・出資・活動支援の公募情報を掲載しています。
※公募情報は常に更新されています。



JANPIA

一般財団法人 日本民間公益活動連携機構



インパクト・スタートアップ、ゼブラ企業、金融機関、中小企業の皆様へ

休眠預金の活用は非営利に限っておらず、営利法人であってもご活用いただけます。
ぜひ、事業で社会課題の解決にチャレンジしてください！！



2025 年 11 月に採択された出資事業と 2025 年 2 月に採択された助成事業のうち、
イノベーション企画支援事業とソーシャルビジネス形成支援事業についてご案内します。

これから、以下の事業が公募を開始予定です。ご注目ください！

◆出資事業

団体名	資金分配団体名	出資予定額
① 株式会社 QR インベストメント 株式会社ソーシャル・エックス（共同申請）	官民共創インパクト 投資事業有限責任組合（仮称）	3.0 億円
② プラスソーシャルインベストメント株式会社	プラスソーシャルインベストメント 休眠預金ファンド（仮称）	5.0 億円

◆助成事業（対象地域に静岡県が含まれる事業）

団体名	事業名	助成予定額
イノベーション企画支援事業 4 事業		
株式会社 キズキ	急増する「不登校・長期欠席の子どもたち」支援モデル形成事業 ー「多様な将来」を探る機会を、すべての子どもにー	2.60 億円
特定非営利活動法人 キッズドア	困難を抱える高校生世代のセーフティネット構築事業 ー地域や企業と連携した中退・ニート・引きこもりの予防と就職・自立 につなげる支援モデルの確立ー	2.02 億円
一般社団法人 グラミン日本	デジタルスキル研修&起業・就労支援を核としたシングルマザー支援団 体の育成・促進事業 ー北海道、東北、甲信越、中国地方を中心とした支援団体モデルの構築 ー	1.78 億円
ソーシャルビジネス形成支援事業		
株式会社 キッチンハイク	人口減少地域における保育環境の好循環サイクル創造事業 ー地域外からの保育留学受け入れを加速する基盤整備事業ー	2.00 億円

掲載の事業は準備が整い次第、公募が開始されます。

■出資事業の詳細はこちら



■助成事業の詳細はこちら



■公募情報はこちら



※公募一覧は随時更新されます。

ご関心・ご質問などがある場合は、政府の指定活用団体 JANPIA までご連絡ください。
一般財団法人日本民間公益活動連携機構（JANPIA） 企画広報部 Mail: info@janpia.or.jp